



モルタルライニング工法

環境対応型

# ショウゼット® 防食モルタル

※ショウゼット防食モルタル、ショウゼット防食モルタル混和液は受注生産品です。

## 特長

- 特殊セメントを配合した耐硫酸性に優れた性能を有します。
- 日本下水道事業団『下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル』（平成29年12月）モルタルライニング工法の品質規格に適合しています。（B種：10mm、C種：17mmの施工厚みとなります。）

## 用途

- 下水道処理施設等の防食工事。

## 使用材料

### ■プライマー 荷姿・標準施工面積

品名	荷姿	標準使用量	標準施工面積
ARプライマー (アクリル系)	4kg/缶	0.03kg/m <sup>2</sup> ※	133m <sup>2</sup>
	18kg/缶		600m <sup>2</sup>

※水を添加する前の使用量です。調合後は0.1kg/m<sup>2</sup>が標準塗布量となります。

### ■粉体 荷姿

品名	荷姿
ショウゼット® 防食モルタル	20kg/袋

### ■混和液 荷姿

品名	荷姿
ショウゼット® 防食モルタル混和液	18kg/缶

### 標準施工面積

配合比	粉体	混和液	水	練り上がり量	標準施工面積
1袋あたり	20kg	1.5kg	約1.5kg	9.2ℓ/袋	0.92m <sup>2</sup> (10mm厚) 0.54m <sup>2</sup> (17mm厚)

## 標準仕様

### B種適合 ショウゼット® 防食モルタルB工法

工程	商品名	混合割合 (質量比)	施工方法	硬化後設計厚さ
プライマー	ARプライマー	3倍液 ARプライマー：水=1：2	ローラー塗り、刷毛塗り 噴霧器	10mm以上
耐硫酸モルタル	ショウゼット® 防食モルタル	粉体：混和剤：水=20：1.5：1.5	コテ塗り	

### C種適合 ショウゼット® 防食モルタルC工法

工程	商品名	混合割合 (質量比)	施工方法	硬化後設計厚さ
プライマー	ARプライマー	3倍液 ARプライマー：水=1：2	ローラー塗り、刷毛塗り 噴霧器	17mm以上
耐硫酸モルタル	ショウゼット® 防食モルタル	粉体：混和剤：水=20：1.5：1.5	コテ塗り	

本製品は、JCQAによりISO9001認証された製造事業所によりつくられています

SHOWA DENKO KENZAI K.K.

## 施工方法

下地	下地面の突起物、レイトンス、硬化不良部分、塵埃、油分、汚れなどは、ブラシ、サンダー等で適切に処理してください。
プライマー処理	ARプライマー(3倍液)を0.1kg/m <sup>2</sup> 塗布してください。
モルタル混練	モルタルミキサー、ハンドミキサーを用いて、3分間攪拌してください。(アルミ製の回転翼は摩耗しますので使用しないでください。)
下こすり	ARプライマーの乾燥(透明化)を確認後、2~5mm程度の厚みで下こすりを行ってください。
塗布	1回の塗付は、天井面:5~10mm程度、壁面:5~20mm程度、床面5~30mm程度としてください。 1日の塗り厚みの目安は、30mmとしてください。落下の危険がある場合は、アンカー等の落下防止策を適切に行ってください。可使時間は40分(20℃)です。気温、水温等の影響を受けますので、ご使用前に試し練りで確認してください。繊維が混入されていますので、特に床面の施工時には鍍圧を十分にかけてください。塗り重ね面にはくし引き等をし、塗り重ね前に、水湿し、ARプライマーの塗布等適切に処理してください。
仕上げ	鍍仕上げは、表面が乾燥する前に行なってください。 表面を仕上げの際に、ARプライマー2倍液を塗布しながら仕上げすることも出来ます。
養生	表面が乾燥しやすいので十分に注意して養生してください。 シート養生(施工後24時間以上)をしてください。シート養生が出来ない場合は、膜養生または散水養生を行なってください。

## 性能試験結果

要求性能	評価項目	日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」 (平成29年12月)防食被覆に用いるモルタルライニング工法品質規格(B種/C種)	ショウゼット防食モルタル
耐硫酸性	質量変化率	5%硫酸水溶液に112日間浸せきした時の重量変化率が±10%以内であること。	適合
遮断性	硫酸浸透深さ	5%硫酸水溶液に112日間浸せきした時のフェノールフタレインの非呈色深さが、B種10.5mm以下、C種6.0mm以下であること。	4.0mm
接着安定性	コンクリートとの一体性	材齢28日で1.5N/mm <sup>2</sup> 以上	適合
モルタル強度	圧縮強さ	材齢28日で30N/mm <sup>2</sup> 以上	適合
寸法安定性	長さ変化率	材齢28日で-0.1%以上	適合

試験場所:(財)日本塗料検査協会

## 注意事項

### 〈暑中施工上の注意〉

- 直射日光等により、材料の温度が上がらないように保管してください。
- 躯体の温度を35℃以下にしてください。必要に応じて、遮光、散水を行ってください。
- 練り上がり温度を35℃以下にしてください。必要に応じて、氷等を用いて練水の温度を調整してください。
- 練りあがったスラリーは、直射日光を避けて20分以内に使用してください。
- 塗布直後から、通風、直射日光等によりドライアウトがおこらないようにシート養生を行ってください。
- シート養生が出来ない場合は、十分な散水養生を行ってください。
- 散水養生の場合は、少なくとも3日以上行ってください。

### 〈寒冷期施工上の注意〉

- 施工は、必ず5℃以上で行ってください。
- 躯体温度は5℃以上としてください。必要に応じてヒータ等を用いてください。このとき、35℃以上にはしないようにしてください。
- 練り上がり温度を10℃以上としてください。必要に応じて、材料をあたたためてください。(材料をあたたためる際は40℃以上にはしないでください。)
- 夜間に低温が予想される場合は、午後の早い時間で施工を切り上げてください。
- 施工後、24時間以上のシート養生を行ってください。
- 夜間に凍結の可能性がある場合は保温養生等を行ってください。その際、施工表面が乾燥しないように、シート養生等の適切な処置を行ってください。
- シート養生が出来ない場合は、保温と十分な散水養生を行ってください。
- 施工後48時間以内の保温を行う場合は、表面の乾燥に十分に気をつけて行ってください。

- 気温が低い場合、強度発現までの時間が長くなりますので、散水養生の場合は5日以上行ってください。

### 〈保管上の注意〉

- (粉体)
- セメント系材料のため、屋内に保管し、あげ床を設けてその上に積み重ねてください。
  - 直射日光を避け、40℃以下の環境で保管してください。
  - 雨の当たらない、水、湿気の少ない場所に保管してください。
  - 現場等で屋外に保管する場合は、防水シート等で充分に被覆し、風等で飛ばされないようにシートを固定してください。
  - 材料が濡れることが無いように保管してください。
  - 開封後は早めに使用し、一度開封したものはその都度使い切ってください。
  - ご購入された製品は製造日から4ヶ月以内に使用してください。(混和液・プライマー)
  - 最低温度が5℃以下にならないようにしてください。また、一度凍結したものは使用しないでください。
  - 直射日光を避け、40℃以下の環境で保管してください。

### 〈取扱い上の注意〉

- 取り扱い時には必ず保護具(保護メガネ、ゴム手袋、保護マスク)を着用してください。
- ショウゼット防食モルタル、ショウゼット防食モルタル混和液、ARプライマーが万一目に入った場合は直ちに多量の水で15分以上洗い流し、医師の処置を受けてください。
- ショウゼット防食モルタル、ショウゼット防食モルタル混和液、ARプライマーが皮膚に付着した場合は直ちに水で良く洗い流し必要に応じて医師の処置を受けてください。

このカタログの記載内容は'20.3月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。  
カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 昭和電工建材株式会社

### ■本社・建設資材営業部

〒221-8517  
横浜市神奈川区恵比須町8番地  
TEL (045) 444-1691  
FAX (045) 444-1699

[https://www.sdk-k.com/dobokuzai\\_kp/](https://www.sdk-k.com/dobokuzai_kp/)

【ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所】

■仙台営業所	〒983-0841	仙台市宮城野区原町3-7-14	TEL (022) 742-5077	FAX (022) 291-1911
■名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄3-11-23	TEL (052) 249-3151	FAX (052) 249-3152
■大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL (06) 6100-2202	FAX (06) 6100-1232
■福岡営業所	〒810-0001	福岡市中央区天神4-1-1	TEL (092) 737-5061	FAX (092) 737-5062
■関東SCMセンター	〒120-0024	足立区千住閑屋町1-4	TEL (03) 3881-5001	FAX (03) 3870-3952
■東北SCMセンター	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町1-7-2	TEL (022) 231-2070	FAX (022) 231-2073
■中部SCMセンター	〒452-0837	名古屋市中区十方町172	TEL (052) 501-2421	FAX (052) 501-2424
■関西SCMセンター	〒567-0058	茨木市西豊川町14-3	TEL (072) 641-6399	FAX (072) 641-6401